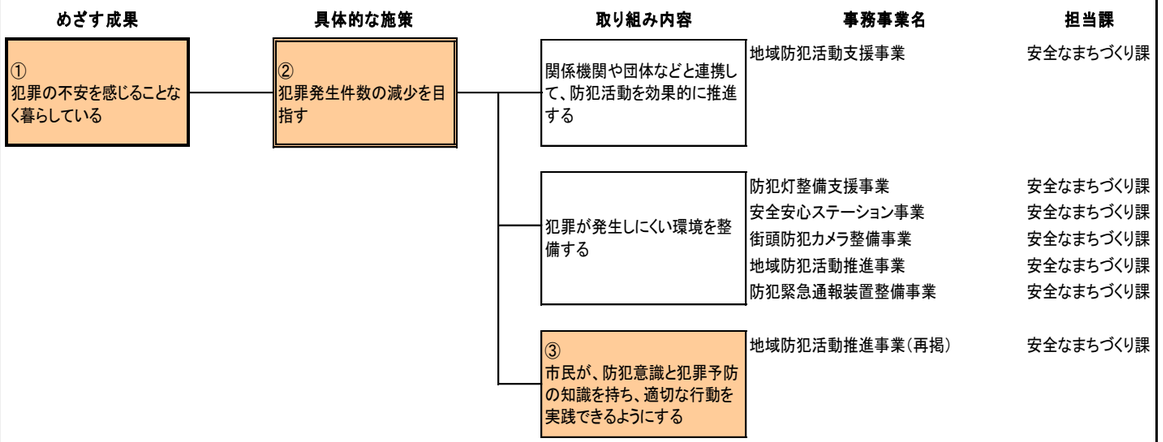
「めざす成果」の達成に向けた進行管理シート

3－1－1　犯罪の不安を感じることなく暮らしている

総合計画体系	健康領域・基本目標	まちの健康・安全と安心が感じられるまち
	個別目標	生活の安全性を高める
	めざす成果	犯罪の不安を感じることなく暮らしている
		市民の防犯意識が高まり、地域の防犯活動が進む中で、窃盗などの犯罪にあうことが少なくなっています。

「めざす成果」を達成するための施策展開（ロジックツリー）



＊再　掲・・・複数の「取り組み内容」に係る事務事業について表示しています。
担当課・・・平成21年度当時の課名で表記しています。
（安全な街づくり課→生活あんしん課：H22．10～）

総合計画掲載指標①		総合計画掲載指標②		総合計画掲載指標③	
以前に比べて、大和市の治安は良くなったと思う市民の割合		年間犯罪発生件数		防犯パトロールを実施している自治会の割合	
計画策定時現状値	34．8%	計画策定時現状値	4，040件	計画策定時現状値	66．3%
実績値（H21）		実績値（H21）	3，778件	実績値（H21）	72．6%
中間目標値（H23）	40．0%	中間目標値（H23）	3，750件	中間目標値（H23）	70．0%
目標値（H25）	50．0%	目標値（H25）	3，500件	目標値（H25）	80．0%

「めざす成果」の達成に向けた進行管理シート

主な取り組み内容	【犯罪発生件数の減少を目指す】 ・大和市防犯協会に補助金を支出し、功労者の表彰や防犯キャンペーン、市民まつりでのコーナー設置などを行い、市民に対して防犯への関心を高めました。 ・自主防犯活動を行っている団体に対して、活動物品の購入費や、青色防犯パトロールに要する経費を補助することにより、地域の防犯活動が活発に行われるよう支援しました。 ・民間の防犯活動団体との協働などにより、地域や保育園、学校などにおいて防犯教室を開催し、個人の犯罪に対する知識の向上を図りました。 ・公用車の青パト化を実現し、犯罪発生の抑止に取り組みました。 ・メール配信サービスなどにより、市民へ犯罪発生情報を提供しました。 ・自治会連絡協議会と協力して、防犯灯の整備を行いました。 ・交番設置について、地元から強い要望があった高座渋谷駅前に安全安心ステーション高座渋谷を設置しました。 ・犯罪発生の恐れがある危険箇所に街頭防犯カメラを設置しました。
構成事業に対する考え方（事業の量及び実施手法）	・市内では、犯罪発生認知件数が一時期より大幅に減少していますが、地域別に見ると県内では常にトップクラスの件数であり、犯罪の抑制には今後も力を入れていく必要があります。市として最大限の防犯活動を行うことはもちろんですが、限られた人と財源では自ずと限界があります。そのため、環境整備や金銭的な補助などで地域住民の方々の防犯活動を支援することにより、警察や行政の手の届かないところへの木目細かな対処が行われ、犯罪発生に対して大きな抑止に繋がると考えられます。

今後の展開方針	注）．例年どおりの事業展開を予定している事務事業については、特段の記載をしていません。	
新規事業の立案		（該当する事務事業）
既存事業の拡充	・これまでのﾊﾟﾄﾛｰﾙやｷｬﾝﾍﾟｰﾝによる犯罪抑止活動により、犯罪認知件数は減少しているものの、依然として犯罪は増えていると感じる市民の声があることから、平成21、22年度設置の街頭防犯ｶﾒﾗの維持管理に加え、駅周辺などに街頭防犯ｶﾒﾗを設置をするなど、今後も防犯対策の充実を検討していく必要があります。	（該当する事務事業） 地域防犯活動推進事業 防犯カメラ整備支援事業
事業の廃止・縮減		（該当する事務事業）
事業の効率化		（該当する事務事業）
その他見直し	・防犯灯の整備を継続するとともに、現在主流になりつつある32Wインバーター防犯灯に替わる次世代の防犯灯として、環境に配慮したＬＥＤ防犯灯の研究をしていきます。	（該当する事務事業） 防犯灯整備支援事業

施策への提言	
総合計画審議会記入欄	＊平成23年度の審議予定となっています。